

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	上部消化管出血の時代的变化と出血性胃潰瘍に対するソフト凝固法の有用性
研究責任者 (所属科名)	永田信二 (消化器内科)
本研究の目的・意義	近年、Helicobacter pylori 感染率の低下、NSAIDs、低用量アスピリン、抗血栓薬の増加などにより、上部消化管出血に関する背景因子は変化している。これまで上部消化管出血の背景因子の時代的变化とその臨床的特徴について具体的なデータを示した研究は少なく、また、内視鏡学会のガイドラインに記載されている内視鏡的止血術(1. 局注法, 2. 機械的止血法, 3. 熱凝固法, 4. 薬剤散布法)はいずれの方法でも初回止血率は 90%前後であり、クリップ止血法は、熱凝固法より止血効果が低いとの報告もあるが、変わらないとする報告もあり研究結果は一定としていない。当院における過去 14 年間の上部消化管出血の特徴について期間別に解析し、出血性胃潰瘍に対するソフト凝固法の有用性について検討する。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2003 年 1 月から 2016 年 7 月 研究期間：2018 年 5 月までを予定。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2003 年 1 月から 2016 年 7 月までに当院に上部消化管出血で受診した方 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	電話：082-257-5211 担当者：鳴田 賢次郎（内視鏡内科 副部長）
備考	